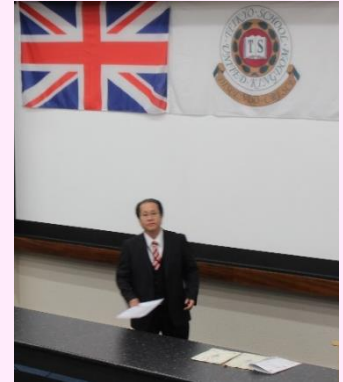


## 2学期終業式

学校長代行 堤先生挨拶

2学期も終わり、いよいよクリスマスとお正月です。9月からの疲れた身体を休めて、身も心もフレッシュしてください。「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。3年生は進路実現に向かって、1・2年生は来年の活躍に向けて、計画を立ててください。他人と自分を比べることなく、自分自身の器を大きくしてください。どれだけ人の話を聞けるかが、その人の器の大きさです。皆さん、頑張ってください。



## 30周年記念式典 11月22日(金)



今年は帝京ロンドン学園 30周年にあたり、11月22日に本学園で式典を行いました。日本から沖永理事長が来校され、20周年に引き続き祝辞をいただきました。ギネスビールで知られるギネス一家のギネスさんが隣村に住んでいて、創立から10周年20周年とスピーチをいただいたのですが、高齢になられたため今年は彼の友人ブルックスさんにスピーチをお願いしました。スピーチでは、30年前に理事長のお父様沖永総長先生が、50数名の生徒を迎えつつこの学園を創立されたこと、そして以来ずっと現在もこの土地で日本文化を広めている学園の功績などについて、話をしてくださいました。卒業生代表として、現在日本で警察官として活躍する1期生の中野龍一郎さんが祝辞を述べてくれました。現在在籍している生徒そして職員一同は、この30周年という大切な節目を一緒に祝うことが出来て非常に嬉しく思います。今後も更に帝京学園が発展していきますように、努力を重ねていきたいと思います。(久保)

## 第二回スピーチコンテスト 11月21日(木)

On November 21<sup>st</sup> Teikyo held the 3<sup>rd</sup> annual Speech Contest. As usual, students from Eton College and Harrow School for Boys joined us and for the first time students St Bernard's School gave speeches. The evening started with a buffet dinner and the students had a chance to chat with each other and then we moved on to the contest itself.

Students from the local schools gave presentations in Japanese and Teikyo students presented in English. The quality was particularly high this year and it was clear that all the participants had put a lot of effort and thought into preparing their speeches. The topics varied widely from Minecraft to the United Nations but represented the range of interests that the students have. The aim of the contest is to improve the language skills of the students but I think all the attendants learned something new.

A big thank you to everyone who came and congratulations to all the winners. (Richard)



## 校内作文 コンテスト

10 月末から行われたスコットランドとポルトガルへの研修旅行を題材にした、恒例の作文コンテストを実施しました。大学受験をテーマに作文した 3 年生もいました。最近 PISA の結果が発表され、いろいろなメディアで読解力の低下が指摘されています。もちろん忌々しきことですが、そうした喧伝にふりまわされたり、即時的な特効薬に飛びついたりしてしまう事態が、世の中全体の「読解力」が低下している何よりの証左だと思います。管見によれば、読解力は、個人や社会の成熟と密接に関係しています。成熟することができれば、読解力はおのずと高まりますし、書いた文章も豊かになります。成熟に向けて、国語科は来学期も生徒みなさんを支援していきます。(初田)



### 入賞作品

#### 「祈り」 ニューラナーク 1 年

おはようございます。今日も仕事頑張るぞ！

こんな声が聞こえてきそうな、1800 年代前半のニューラナーク。ここは、当時のイギリスにとってはものすごく良い環境で仕事ができる場所だった。きちんと掃除された家、労働時間の制限。

本来ならば学校へ行くべきなのに働いていた子どもたちも、学校で勉強ができるようになった。長時間労働や児童労働、衛生面や環境問題などのさまざまな問題が発生していた時代に、ロバート・オウエンという人が、村で働く人たちの生活を改善させたのだ。紡績工場のそばにきれいな住宅地と学校を造り、過酷な労働環境の改善に力を注いだ。



実際に建物の中を見学してみて、正直驚いてしまった。労働環境は改善されたといってもまだ厳しいし、部屋も決して広くはないので、嫌になったりしないのかと心配になった。しかし、当時の生活の様子を再現した所を見に行くと、当時の人々は嫌になるどころか逆に日々の生活に満足していて、ここで働かせてもらえることに感謝しながら生きていることがわかった。我慢することや不便な部分がたくさんあり決して楽ではない生活なので、かわいそうだとすら思っていたのに、楽しんでしかも感謝までしていたなんて。人々の前向きな姿勢に感銘を受けた。当時の子どもたちは、私よりもずっと精神が大人だと思った。心が強くて広いと感じた。環境が改善されたとはいえ、危険とは常に隣り合わせ。けがや病気で、若いうちに亡くなってしまった方もいる。もっと過酷な環境で働いていた人がたくさんいる、むしろそのような人の方が圧倒的に多いことを考えると、ぞっとする。自分がそのような環境に置かれたら、果たして耐えられるのだろうか。

労働に関する問題は未だに解決されていないものも多く、国や地域ごとにそれぞれ問題を抱えている。私もこれから社会人の一員になるので、目を背けずに考えていきたいと思う。そして、常に小さな幸せを感じながら感謝する心を忘れないようにしたい。

## 幸せの形

2年



その日はとても寒く空が青く澄んでいた。そこに優しく包み込むように雲が浮かんでいた。何かを守るように力強く生えていた木々は紅葉の時期と相まってとても美しかった。そして、そんな景色を背景にひっそりと佇むニューラナークは、私にとって普段の生活では気付くことが難しい大切なことを教えてくれた。

そこには労働者達とその家族が居住していた。年齢など関係なく劣悪な環境で働くことが当たり前であった。だからその当時、川の音が響き渡り、空が広く、木々が生えるような自然に囲まれた家が与えられた環境で働くことができたニューラナークは何よりも、労働者達の癒しになっていたことだろう。そして同様に教育環境も整っていた。私達と同じように学校には制服のようなものがあり、音楽に触れる授業もあった。家族と過ごせる憩いの場所でもあり学べる場所でもある。そんな何気ない、私達にとっては当たり前の生活を送れること自体、幸せだったのだ。しかし今はどうだろうか。ふと考えてみると当時と今では“幸せ”のありかがあまりにも違いすぎる。近代化した現代の社会、電子機器類の開発が進み生活が便利化していく中で、それと引き換えに何を失ったのか。私達は窮屈な社会の中でたくさんの情報に埋もれて生きている。とても呼吸がしにくい社会だ。こうした環境に依存している人が大勢いることが、今の時代の幸せの形を創りあげていることに繋がっていると思う。ニューラナークのように発明品に操られない身で働きながら、自然と触れ合い家族との時間を過ごせることは当たり前であるはずなのに我々の時代にはない幸せの形だと思った。そして、今までの自分の当たり前の幸せが覆され、違う“幸せの形”があると気付かされた。

そして何よりも、私が気付くことが出来たのはその当時から続いている、ニューラナークが理想郷とよばれる秘密なのかもしれない。

## 訪れる意味

3年

そこは、自由時間で訪れた世界遺産にも登録されている歴史情緒溢れるエディンバラ旧市街。一つの大聖堂へ足を止めた。私を導くかのように雨脚が強まり始めなくなり中に入り傘を閉じた。顔を上げると一つのステンドグラスが目に入った。そのステンドグラスは、雨天を晴らすかのように輝きを放っていた。

19世紀から20世紀のスコットランド有数のステンドグラスの窓だそう。豪華といった雰囲気とは真逆に華美な装飾など一切ない重厚感、スコットランドらしさを主張しているかのように思えた。そのデザインの美しさに私は、息を飲まずにはいられなかった。石造りのゴシック様式で落ち着いた風格ある建物は、独特な雰囲気を漂わせていた。高く優美な曲線を描くアーチ形の真っ青な天井は、この雰囲気を対比させるかのように建物の中心にある祭壇を引き立てていたのだ。

私は、大聖堂や教会が好きだ。旅行に来ると必ずと言ってもいいほど、足を運んでいた。ステンドグラスの輝きが心を癒し、いつも神々が私に「訪れた意味」を教えてくれているかのように感じていた。またもや、私は導かれたのか。そう思わずには終えなかった理由があったのだ。それは、この大聖堂の神々は健脚の神として有名であることを後からガイドさんによって知ったことからだった。確かにたくさんの車椅子の人や杖をついた人、片足のない人など様々な足に障害を抱えた人がその場に訪れていた。

私の父は数年前に足が不自由になってしまっていた。またもや私は導かれ、出会うべくして出会ったのだと確信した。そしてここに「訪れた意味」もまた神々に教わっているかのような感覚があった。

今まで訪れてきた大聖堂や教会にはそれぞれ私にとって意味のあるものになっていた。今回偶然にして出会った聖ジャイルズ大聖堂を私は忘れることはないだろう。

キリスト教の祈り方を知らない私は、手を合わせ神に感謝の気持ちと、父の足が健脚になるように祈った。そして、父にお守りを買って、いつか一緒に訪れることを心に誓い私はその場を後にした。



## 週末ホームステイ 11月15日(金)～17日(日)

今学期、2回目の週末ホームステイに4名の生徒が参加しました。



KO3

I went to weekend homestay for the first time. Host family were very kind and friendly. Weekend homestay was only three days. It was short time however, I talked a lot because they asked many questions and gave me topic. I did many things. Among them my best things is cooking. Host mother likes cooking very much. So, she has many cooking utensils and spices. I made a pineapple cake. I forgot how to make but, I enjoyed making it. So, I want to make again. This was maybe last homestay for my school life.

KO3

I did weekend homestay with Momoko and Haru. My best memory of this homestay was Second day. We went to Christmas Market and Covent Garden on Saturday. Christmas Market is in London. We can see London Eye from this market. There are a lot of shops such as lights, chocolate, tea and so on. I bought a light for my cousin. After that we went to Covent Garden. There are some Christmas trees and we took a lot of pictures in front of this.

KO3

I went to Mr and Mrs Lombardlli's house. This time was third time for me to went to this family. We did lots of things and every time I went there they welcomed me. On Saturday we went to Christmas market which was near London eye. Also, on Saturday we went to trampoline and did cooking. I extremely enjoyed this homestay because I think I could speak English with them a lot as well as I am able to know what British people do in the weekend.



KO1

This homestay has been very positive for me! Because on the first day with my host family, I often can't talk as if I was nervous, but by having a UNO with my host family, my smile increased, and above all, my host father's personality and the host mother's English It was a very fun first day with the attitude of helping and having a conversation. On the second day, we went to Waddesdon Manor from noon.

I visited the manor house and was impressed by the fact that it was very gorgeous and entered a big tree. As I walked in, all rooms were decorated with Christmas specifications and were very gorgeous and beautiful.

After the tour, we had tea at a cafe that renovated the stable. After that, I went to the Christmas market I was doing at the time. There were a lot of Christmas items on sale and it was very impressive.

I saw the illumination when it was getting dark. I've never seen a sphere move with music, so I was very impressed.

I was glad that my host family was very good, and I was glad to meet some of the most interesting, strong and kind people in my host family so far and go to a homestay on the weekend. In addition, I was able to talk more than before and had a great time. There were so many things, but it was a fun weekend. I want to go again.



## 中野龍一郎さんの講話 11月19日(火)

11月19日(火)に神奈川県警察署の中野龍一郎さんをお迎えして、進路講演会を行いました。中野さんは本学園の記念すべき第1期卒業生で、今回22日の創立30周年記念式典に合わせて渡英して下さっていました。高校時代の話にはじまり、警察官となつてからのさまざまなエピソードまで、日本からたくさん持参していただいた実物の紹介や生徒とのロールプレイを交えることなどで、とても興味深い時間を学園にもたらしただきました。練習計画の都合で参加できなかったサッカーコースにも、その後2回目の講話をいただきました。とかくキャリア教育の重要性は叫ばれるものの、デジタルメディアの発達による情報量の増加がむしろ職業意識の醸成を妨げている向きもある昨今、教員や家族以外の大人、しかも自分たちの大先輩から、生で働くことについて聞くことができ、たいへん貴重な機会となりました。また、全員に警察限定グッズをご用意していただくなど、感謝の言葉もありません。そして、中野さんはこの日がなんと46歳の誕生日でした。なんだか人生の不思議なめぐり合わせのようなものを感じてしまいます。本当にありがとうございました。

(初田)



## ミュージカル「School of Rock」鑑賞

12月5日(木)

試験終了後の晴れやかな気分もそのままに、クリスマスで華やくロンドンの街を抜け、ミュージカル School of Rock を観てきました。先生も生徒とともに成長するもの。一緒になって一つの物を作り上げる感動を味わいました。またミュージカルと言うよりも、コンサート会場にいるような雰囲気も、とても楽しいものでした。

30周年の本年を締めくくるにはピッタリなミュージカルだったと思います。来年もたくさんの楽しい思い出が皆さんと作れますように！(遠藤)

Merry Christmas & Happy New Year ♪



## クリスマスパーティー 12月6日(金)

12月6日(金)終業式終了後、クリスマスパーティーが行われました。ターキーやローストビーフなどの美味しいクリスマス料理を堪能し、生徒会主催の出し物で大いに盛り上がりました。ロイヤルアカデミーオブミュージックの学生さんたちによる弦楽四重奏が、パーティーに華を添えてくれました。生徒からスタッフ全員にクリスマスカードが配られ、また最後にはハワイから来た?三谷サンタが生徒全員にプレゼントを配り、楽しいパーティーの締めくくりとなりました。(本間)



